

大鷲（おおわし）が 連れ去った大空

「僕ならもう大丈夫」

自宅のタンスにあった画用紙にマジックでそう書いて、俺は近くの噴水の横で空に向けてそれを掲げた。

ぽかあーんっ

と口を開けて、不思議そうに小さな少年がそれを見ていた。

空から6メートルのワシがやってきて、

俺を掬うようにして再び大空へ。

どこかの映画にありそうな名シーン。

俺は下の街の映画館を見下ろしながらそんなことを
なんとなく思った。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。